

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課

担当名: 野生生物担当

内線: 3143

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B31	ニホンジカ捕獲促進事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	鳥獣保護管理対策費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律			宣言項目		SDGsゴール
					分野施策	051247 生物多様性の保全		SDGsターゲット
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>近年、ニホンジカの生息数の増加や生息域の拡大に伴い、森林が破壊され、森林生態系に重大な影響を及ぼしている。このため、捕獲体制を強化し、個体数を適切に管理する。</p> <p>(1) ニホンジカ捕獲事業 $\Delta 9,679$千円 (4) ニホンジカ捕獲効率向上のための技術開発 $\Delta 137$千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア ニホンジカ捕獲事業 県を実施主体とするシカの捕獲 34,839千円 → 25,160千円 イ ニホンジカ狩猟促進事業 狩猟におけるシカ捕獲体制の強化 15,840千円 ウ ニホンジカ個体分析調査事業 ニホンジカの個体数管理の指標とする情報の収集 11,550千円 エ ニホンジカ捕獲効率向上のための技術開発 移動ルートの制御、捕獲技術の改良 1,013千円 → 876千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア ニホンジカ捕獲事業 捕獲計画策定: 通年、捕獲業務委託: 通年 イ ニホンジカ狩猟促進事業 ニホンジカ狩猟促進業務委託(県猟友会に委託): 狩猟期間 ウ ニホンジカ個体分析調査事業 エ ニホンジカ個体分析調査業務委託(市町村に委託): 通年(狩猟期間を除く) エ ニホンジカ捕獲効率向上のための技術開発 誘導柵によるニホンジカ移動ルート制御技術の開発、簡易な捕獲技術の改良と普及</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア ニホンジカが多く生息していると思われる地域や狩猟や有害鳥獣捕獲が行われていない地域等において県が主体となって捕獲を行うことにより、県全域で捕獲圧を強化できる。 イ 個体数管理の指標とする情報の収集により、ニホンジカ、イノシシによる生態系への影響や計画的な農林業被害防止対策、効率的な捕獲実施等の推進を図ることができる。 ウ シカを任意の地域に誘導することで、効率的な捕獲、また、捕獲柵を改良し、捕獲効率の向上が可能となる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>ア 認定鳥獣捕獲等事業者等の民間が有する先進的な捕獲技術を活用することにより、効率的な捕獲を促進する。 イ 経験豊かで指導力のある狩猟者を擁する一般社団法人埼玉県猟友会と連携して捕獲を実施する。 ウ 有害鳥獣捕獲により捕獲された個体の情報を収集するため、許可権者である市町村と連携する。 エ 寄居林業事務所職員の活用による事業展開</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 委託料の契約差金による減額 $\Delta 9,644$千円 イ 経費節減による減額 $\Delta 172$千円</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県1/2、国1/2) (対象事業に限る) (県10/10) (上記以外)								
3 地方財政措置の状況 地方交付税(単位費用) (区分) 林野行政費(細目) 鳥獣行政費 (細節) 鳥獣行政費 (積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.7人=6,650千円								
			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
予算額		国庫支出金	繰入金					
決定額	$\Delta 9,816$	$\Delta 4,822$	$\Delta 4,994$				0	53,426
現計額	63,242	17,278	45,964				0	